

# 交通安全教育資料

この資料は、交通安全教育に役立つ県内外の情報提供を目的とし、各学校に教員数分を配付しています。学校の状況に応じて、生徒分を増刷し、ホームルーム活動等に利用してください。

平成 18 年 10 月 17 日発行

発行 神奈川県高等学校交通安全教育研究会

監修 神奈川県教育委員会  
教育局保健体育課



また、自転車対歩行者の事故件数を平成八年と比較すると、昨年は一・六倍となり自転車の加

自転車事故を形態別に分析すると、出会い頭の事故が例年半数近くを占めています。その原因として、一時停止や傘さし運転、二人乗りといったルール無視、ライトやブレーキなどの整備不良、何かに気を取られていた、いつものように今日も平気だなどといった安全に対する意識の低さなどが考えられます。

自転車乗車には免許が必要ありませんが、道路交通法において軽車両であるということを強く意識しなければいけません。高校生になる社会の一員としての義務と責任を身に付けさせ、今後のよりよき交通社会人を育成するためにルールを守り正しいマナーで他者にも配慮できる安全な乗車を心がける指導を各校において継続させることが必要です。

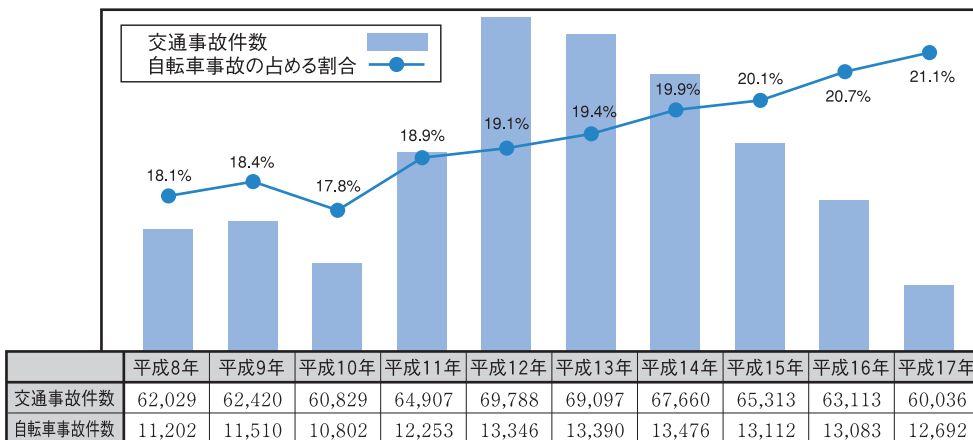
また、交通事故の増加が深刻な問題となつていきます。高校生の自転車事故は平成十五年から二輪車事故を上回り、特に県北・県東・川崎地区で多くなつていいます。最近の新聞記事にも見られるように、自転車の悪質な違反行為に対する取締りが強化されるようになってきました。それには年々増加する自転車の加害事故に歯止めをかける目的も、大きな理由となつていきます。

県警によれば、県内の交通事故件数は平成十二年の約七万件をピークに減少しています。しかし、その中で自転車に関係する事故の割合は増加傾向にあり、昨年は交通事故の約五件に一件は自転車に関係している事故でした。

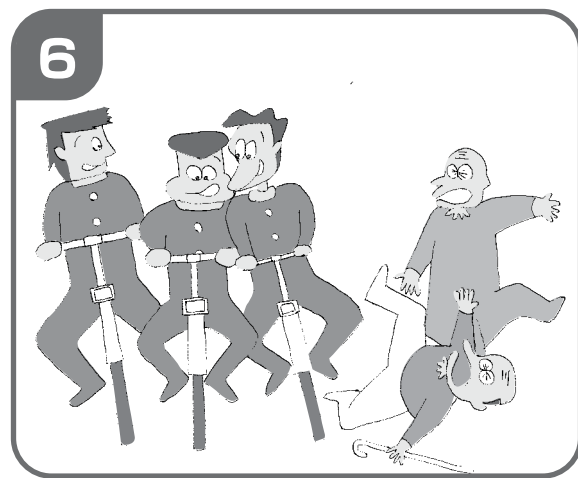
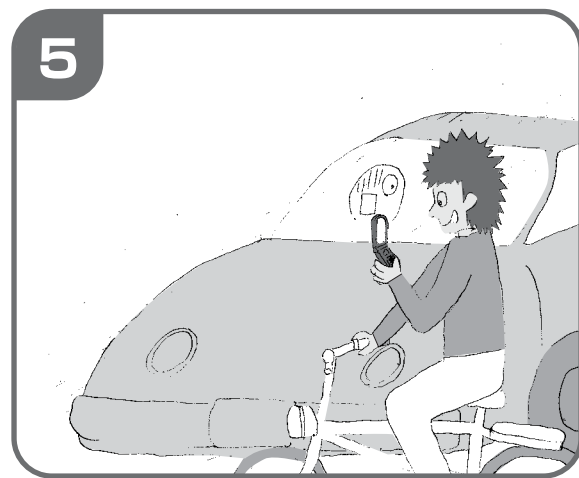
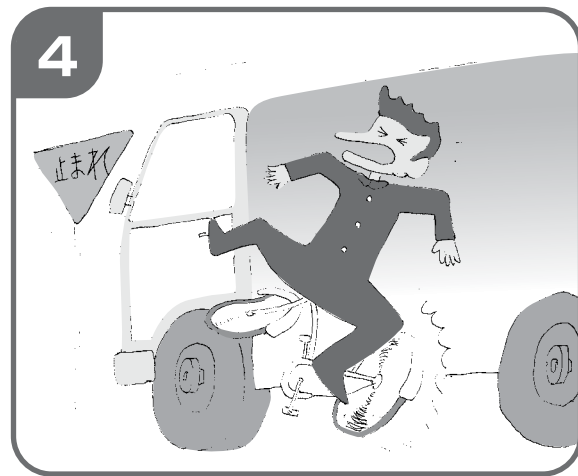
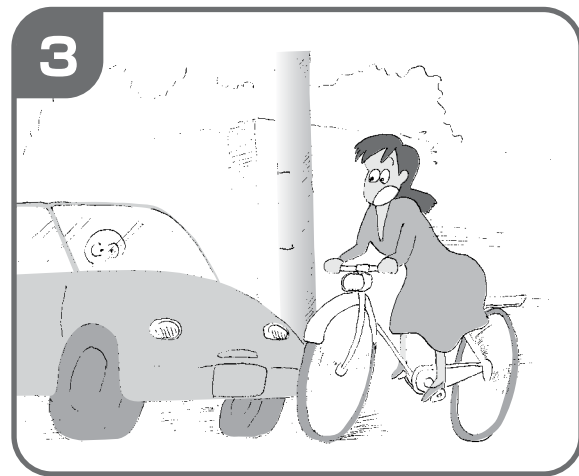
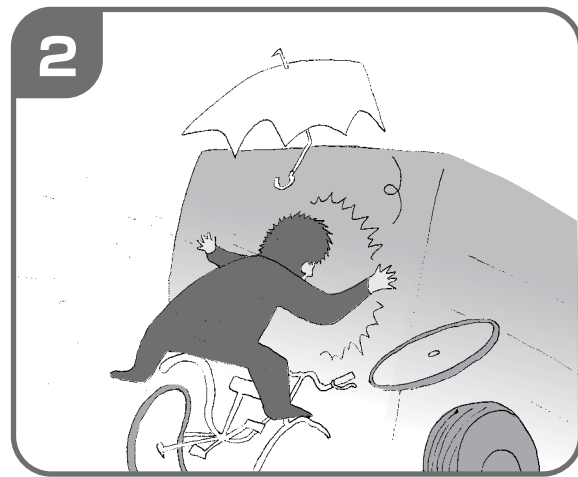
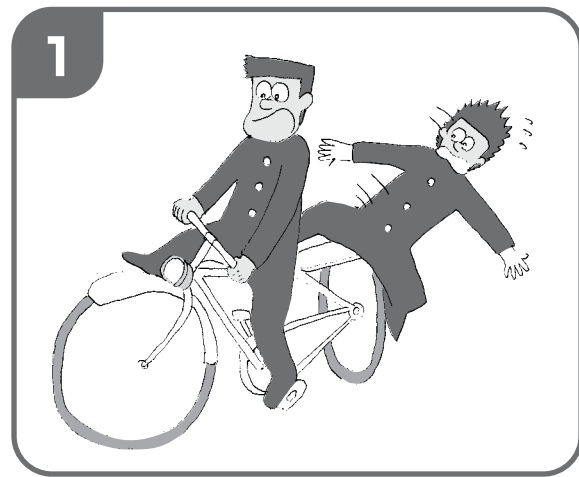
## 減らない自転車事故、加害事故にも注意

過去十年間の交通事故件数の推移より

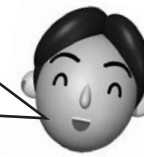
県内の自転車事故の推移（県警調べ）



# こんな運転していませんか？～自転車の違反運転～



左のイラストに当てはまる説明文を選び、番号を空欄に書き入れましょう。



## 傘差し運転が違反！

視界も狭まりとても危険な運転です

番号

坂道を走行中、急停車した自動車に反応できず衝突する。

歩道を走行中、バランスを崩し、同乗者が車道へ投げ出される。

自転車3台で歩道を走行中、店から出てきた老人をよけきれず接触する。

交差点に差し掛かり、安全確認をせずに走行したところ、トラックと衝突する。

見通しの悪い交差点に差し掛かり、安全確認をせずに走行したところ、自動車と衝突する。

携帯電話でメールを見ながら走行中、自動車に気づかず衝突する。

## 二人乗りが違反！

バランスを崩した時、後ろの人はなにもできません

## 並進が違反！

歩道では歩行者が優先です

## 一時停止義務違反！

「止まれ」の標識に気づきましたか？

## 一時停止義務違反！

見通しの悪い交差点では必ず止まりましょう

## 安全運転義務違反！

ながら運転は周辺の情報を妨げ、とても危険です。

自転車も車両の仲間です。運転に関するルールを守らなければいけません。くるま社会の一員として、常に安全を意識した運転をしましょう。

## 平成十八年度 交通安全高校生大会

～開催に向けた準備が進められる

各地区で行われる交通安全高校生大会の日程が決まりました。

生徒が中心となって、夏休み前から準備が進められ、交通安全に関する講話や研究発表、クイズ、パネルディスカッションなど、バラエティーに富んだ内容が予定されています。

生徒・保護者・学校がそれぞれの立場にたつて交通安全についての意識を高めるよい機会となりますので、企画運営の協力や、大会当日の積極的な取り組みをお願いします。また、その成果を各学校での活動に活かす工夫をしてください。

なお、試行として、PTA主催の交通安全父母集会との合同開催といった新しい取り組みを行う地区もあります。

地区	開催日	会場
◎横浜北	11月25日(土)	神奈川県総合高校
横浜中	11月17日(金)	横浜平沼高校
横浜南	11月21日(火)	港南公会堂
◎川崎	11月22日(水)	エポック中原
横須賀・三浦	12月13日(水)	横須賀市総合福祉会館
◎鎌倉・湘南	11月22日(水)	茅ヶ崎市市民文化会館
平塚・秦野	11月22日(水)	秦野市文化会館
◎県西	11月16日(木)	小田原市中央公民館
◎県央	11月22日(水)	海老名市文化会館
県北	11月13日(月)	杜のホールはしもと

◎はPTAとの合同開催

## 交通安全に関する様々な取り組み

～公開事業の積極的参加を

本年度、公開される事業は次の通りです。

### 公開ヤングライダースクール

十一月十四日(火) 県立松陽高等学校

学校敷地内で実施されます。

### 公開授業

十一月 県立神田高等学校

三年生の選択授業「交通安全」の中で実技を伴った内容が予定されています。

当日は見学だけでなく、懇談会も設定されています。活発な意見交換をし、各校の取り組みに役立てるよう、積極的な参加をお願いします。

交通安全に関する取り組みは、学校の状況に応じて行われています。しかし、継続していくための問題点や、新しい取り組みの方法など、質問や意見が多く寄せられています。

### ヤングライダースクール

二輪車免許の取得者を対象とした安全運転講習会は、「かながわ新運動」に移行してから多くの学校で行われてきました。

ここ数年は、高校生の免許取得者が減少し、単独での実施が難しい状況にあります。しかし、二丁三校での開催や地区主催の合同開催により、講習会

に参加しやすくなったという意見も聞かれます。講習会場も自動車教習所などの施設にとどまらず、学校敷地内で行う学校もあります。

### ホームルーム活動・授業での取り組み

交通安全教育の根幹であり、担任の指導によるクラス単位の取り組みや、学年、学校単位での外部からの講演など、様々な形態で行われています。

また、「総合的な学習の時間」や「学校設定科目」の単位として位置づけ、年間を通じて学習を行うといった事例もあります。

### その他の活動

自転車に関する指導が、県内のほとんどの学校で課題となっています。乗り方指導にとどまらず、くるま社会の一員として、義務と責任を負い行動するのだということを、様々な方法で取り組んでいます。

また、「くらし安全指導員」の協力により、多角的な安全教育を実践している学校もあります。

### 公開事業に関する問い合わせ

神奈川県教育委員会教育局保健体育課  
教育指導 担当/大石 進

TEL045(210)1111(代表)

神奈川県高等学校交通安全教育研究会

普及委員会 担当/中川敏晴

TEL046(248)1705

(県立厚木西高校内)